

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 内水面漁業普及啓発促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課里川振興係 電話番号：058-272-1111(内4214)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,983 千円 (前年度予算額： 4,153 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,153	1,925	0	0	0	0	0	0	2,228
要求額	3,983	1,864	0	0	0	0	0	0	2,119
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年、組合員と遊漁者が年々減少してきている。内水面漁業の担い手を確保し、将来に渡って河川の恵みを持続的に享受するためには、川で釣りをしたり、生きている魚を触ったりする機会を提供し、内水面漁業の魅力と環境保全の大切さを幅広い世代の県民に伝える必要がある。平成30年6月に内水面漁業の振興を目的にオープンした清流長良川あゆパークを活用して、内水面漁業普及啓発を進めていく。

(2) 事業内容

内水面漁業や河川環境への理解を深めるために実施する展示及び体験イベントの開催経費及び事務経費

(3) 県負担・補助率の考え方

内水面漁業や河川環境への理解を深めるための経費であり、県で負担が妥当。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	225	業務旅費
委託料	3,728	漁業体験イベント等にかかる委託料
消耗品費	30	体験に使用する漁具等
合計	3,983	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画（令和3～令和7年度）
第6章 1（3）⑥鮎を守り育てる体制の構築

(2) 後年度の財政負担

ぎふ農業・農村基本計画の目標達成に向け、事業効果測定のうち、継続的に事業を進めていく必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

県が事業主体となり、幅広い世代の県民に河川環境保全の大切さや魚釣りの楽しさを知ってもらうことで、漁業協同組合員数や遊漁者数の増大につなげ、ぎふ農業・農村基本計画で掲げる目標を達成するために妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

あゆパークの利用者を対象に漁業体験及びGIAHSに関する講座を開催することで、内水面漁業の魅力と環境保全の大切さを若年層に伝えていくため、あゆパーク利用者と体験学習参加者を指標とする。

年間、パーク利用者数10万人を目指すとともに、県内小中学生による体験学習参加者5,000人を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	年間 目標	達成率
①あゆパーク利用者数		116,647人	100,000人	100,000人	100,000人	117%
②漁業体験及び講習会参加者数		5,236人	5,000人	5,000人	5,000人	105%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>（内容）</p> <p>夏休みイベント実施（令和2年7月23日～令和2年8月23日） 来場者数：43,902人（R2.7～8）</p> <p>秋イベント実施（令和2年9月19日～11月3日） 来場者数：35,427人（R2.9～11）</p> <p>（成果）</p> <p>内水面漁業の普及・促進の効果が得られた ※清流長良川あゆパーク体験利用者アンケート結果 パークでの体験を通じて魚釣りへの関心が高まったか。→94%がはい</p>
令和3年度	<p>（内容）</p> <p>夏休みイベント（令和3年7月22日～令和3年8月19日） 来場者数 21,247人</p> <p>秋イベント実施（令和3年10月2日～令和3年11月7日） 来場者数 13,346人</p> <p>漁業体験開発（令和3年度冬季試行）</p> <p>（成果）</p> <p>内水面漁業の普及・促進の効果が得られた（パーク体験者数…夏休みイベント期間中8,002人、秋イベント期間中4,633人）。新型コロナウイルスの影響もあり、感染防止対策を徹底できるもののみを実施した。 県議会において質問があった、パークのグランピングという形での活用について新たな体験を開発したほか、遊漁についての講座や、提灯クラフト体験の開発を行った。</p>

令和4年度	(内容) 春イベント実施（令和4年4月29日～令和4年5月6日） 期間中来場者数 3,750人 夏休みイベント実施（令和4年7月23日～令和4年8月28日） 期間中来場者数 52,092人 秋イベント実施（令和4年9月17日～令和4年11月6日） 期間中来場者数 13,205人 (成果) 「あゆパーク利用者数」、「漁業体験及び講習会参加者数」ともに目標値を超え、参加者に対し、内水面漁業の普及・促進を行うことができた。
	指標① 目標：100,000人 実績：116,647人 達成率：117%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	内水面漁業の振興及び河川等内水面の生態系維持保全のための取り組みであり、これらに対する支援が求められている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	あゆパークで漁業体験をすることで、魚釣りに関心をもってもらうことができた。 [アンケート結果] 魚釣りをしたことがある・・・38% 漁業体験を通じて釣りをしてみたい・・・94%
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	事業を効果的に実施するため、多くの来場者が期待できる「清流長良川あゆパーク」を会場に事業を実施する。 あゆパークは「内水面漁業の振興」「G I A H Sの発信」の拠点であることから、本事業の目的を効率的に達成できる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 遊漁者数が減少しつつあることから、幅広い世代の県民に魚釣りに興味をもってもらう必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 事業継続に当たり、漁業体験などの参加者に対しアンケートを実施することで、県民ニーズを把握し、実施内容や規模等について見直しを行う。
--

(他事業と組み合わせる場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果など	【〇〇課】